

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上、外商売上、図書カードの売上は、全て前年同月を上回った。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・大変寒い日が続く、地元客の来街ははかなり少なくなっている。しかし、週末は観光客やインバウンドの来街が非常に多く、イベントも開催されることから、街がかなりにぎわっている。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・本部の施策が功を奏して、来客数、売上共に順調に推移した。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数、客単価共に前年比105%となった。
	○	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・白物家電が前年比110%以上で伸長しており、新生活需要の販売量も増加している。
	○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・直通便で来訪するインバウンドの搭乗率が好調であるため、集客の底上げにつながっている。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・SNSを見て来店する客が増加した。
	□	商店街（常務理事）	販売量の動き	・街中は人流も増えて、にぎわいや活気があるものの、消費者の節約志向は強く、インバウンドの多さが目立ち、売上が伴わない店が増加している。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比較して、変化はない。しかし、メーカーからの値上げ通知が来ているのが心配である。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・卒業、送別用の商品の売行きは平年並みだが、今年はお金をかける商品と安く済ませる商品を使い分ける傾向が強くなっている。数件の店舗を回りながら悩んで購入している様子である。
	□	百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・インバウンドによる消費は好調だが、国内需要が低迷している。
	□	スーパー（店長）	単価の動き	・商品単価の上昇に伴い、客単価が上昇している。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・相次ぐ商品価格の上昇やエネルギー価格の高騰により、消費者の購買意欲が抑えられている。
	□	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・メリハリのついた消費の傾向は依然続いており、来客数は前年を下回っている。
	□	スーパー（企画担当）	単価の動き	・商品単価の上昇が続いているため、来客数の増加よりも買上金額の上昇が上回る状況が続いている。客単価は高止まりで推移している。
	□	スーパー（人事）	来客数の動き	・物価の上昇が進んでおり、実態としては楽観できない。
	□	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・販売促進強化と差別化努力によって、前年7月以降、来客数が増加している状態が継続している。
	□	コンビニ（総務）	販売量の動き	・売上の前年比が3か月前と比較して、ほぼ変わらない。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・前月と同様に前年を下回って推移している。食品を中心とした物価高の影響が大きく、客は必要な物以外は購入しない。
	□	乗用車販売店（役員）	お客様の様子	・客の購買意欲等に大きな変化はない。
□	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・3か月前の予想と、現状は大きくかい離していない。	
□	タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と比べて、余り変化はない。売上や来客数も、同じ水準である。ガソリン価格が上昇し、小遣いもなくなったという声が多い。	
□	観光遊園地（主幹）	来客数の動き	・インバウンドが好調で、来場者数が同水準で推移しており、景気が好調である状況に変化はない。	
□	競艇場（マネージャー）	販売量の動き	・現在のところ、売上に大きな変動はみられない。	
□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・設備投資の話題は出るものの、建築費の高騰によって、投資をためらったり、中止する客が増加している。	

	▲	商店街（代表者）	それ以外	・仕入価格の高騰が継続しており、販売価格に転嫁していかなければならず、客にとっては手を出しにくい価格になり、難しい状況が続いている。地方都市であるため、賃金の上昇も追い付いておらず、徐々に買い控えの様子がみられる。
	▲	コンビニ（商品担当）	単価の動き	・肉、卵、米の値上げによって、商品価格の上昇が収束していない。
	▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・閑散期ではあるが、新生活準備の客足が鈍く、当初の想定ほど販売量が増加していない。
	▲	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・納期が長期化し、販売可能な車種が少ないため、苦戦している。
	▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・天候不順で寒さも厳しいため、客が動かない。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今年に入って以降、商品の動きが非常に悪い。光熱費の高騰、物価上昇そして増税のため、外食やし好みへ回す金額が減少している。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・衣料品販売では、気候の関係もあり、とにかく来客数が少ない。物価も大きく上昇しており、洋服を購入する余裕がないとみられる。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客の来店頻度、注文数は確実に減ってきている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・冬場は、収入のメインとなる遍路客が少なく、景気は前年よりも大幅に悪化している。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業（商品統括）	取引先の様子	・人件費や原材料費、エネルギー価格の上昇により、中小規模の食品会社の製造が減少していたが、このところ劇的に改善している。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・再生可能エネルギーやリサイクル等の事業を実施しているが、受注や見積依頼の件数が非常に多い。さらに、それ以外の事業の実施も徐々に増加している。
	□	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・青果物の卸売価格は、例年と比べ高値傾向が続いているが、本県産の主要品目の果菜類は、年明け以降、例年並みで推移している。例外はししとうで、高温のため前年夏に過去に例をみない水準での数量減や高単価となった反動から、年明け以降、例年になく低調な販売となっている。業務での需要が中心となる品目は、同様の事例が過去にもあった。
	□	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・インバウンドを対象とした小売店は順調であるが、地方の小売店は苦戦している店もあり、全体では前年とほぼ同水準の結果になるとみられる。特に北方の他地域の小売店は雪害のため、客が来ず、苦戦している。
	□	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・前年と同様、造船関連の受注量や販売量は安定しているが、産業用の機械関連は低迷している。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内では、大規模な工事が実施、計画されている。一方で、慢性的なオペレーター不足や労働時間上限規制の影響を見極める動きもあり、需要は減少している。海外では、北米やアジアの需要は横ばい、オセアニアやアフリカで需要が減少しているものの、中東や中南米等の需要は増加しており、全体としては増加傾向である。
	□	輸送業（経営者）	取引先の様子	・良いのか悪いのか判断が難しく、景気は変わらないとした。
	□	通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・2月は日数が少ないこともあり、そもそもの売上は11月と比べて低いが、前年比どちらの月も辛うじて100%を上回っており大きな変動はない。
	□	通信会社（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年度末に向けて、今年度の受注が増加しない。
	▲	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少していることに加え、燃料費などの上昇で配送費も上昇しており、利益が大幅に減少している。価格改定を、早急に客に依頼しているものの、即時変更は難しい状況である。
	▲	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・当社既製品の出荷量が少なく景気は良くない。

	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年が変わってから、受注がほとんどない。
	▲	金融業（副支店長）	取引先の様子	・金利が上昇したことから、企業は調達コスト、個人は住宅ローンの金利負担が大きくなっている。住宅の着工件数は、前年比で10%以上も減少し、地方は給与が上昇していないこともあり、景気は更に厳しくなる。
	▲	税理士事務所	取引先の様子	・原価率の高騰などにより、利益が出ている取引先が少ない。
	×	—	—	—
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	—	—	—
(四国)	□	人材派遣会社（総務部長）	求職者数の動き	・求職者の数が会社の売上に直結するが、現状では変化はみられない。
	□	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・地方の中小企業の人手不足の状況は継続している。地方の中小企業では、売上や利益が上昇していないため、給与ベースの上昇などが見込めない。そのため、採用面でも大手に比べて競争力が弱く、苦戦している状況が継続している。
	□	職業安定所（求人開発）	それ以外	・新規求人数の増加傾向が落ち着きつつあり、新規求職者数も今月からは減少傾向であり、前年比でみると3か月前と大きく変わらない。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・年度末に向けて、地方の広告はますます厳しい状況である。民間の動きが求人以外は鈍い。
	×	—	—	—